



特定非営利活動法人

さわやか青少年センター

# ふれあいボランティアパスポート手引き

(必ずお読み下さい)



## 【さわやか青少年センター】

さわやかセンターは、青少年一人ひとりの生きる力の根幹である『人間力』

- ・自ら意欲的に生きていこうとする“自助の力”と、
- ・みんなで助け合って生きていこうとする“共助の力”

を青少年が自ら育むよう支援することを目的とする団体です。

## 1. 「ふれあいボランティアパスポート」は何のために？(趣旨)

■子どもたちの『人間力』を育むには、「体験」が重要です。「体験」の場は、子どもと「社会」の接点です。

子どもは、人々とのふれあいや様々な体験を経て、コミュニケーション能力、主体性、協調性、企画力、創造力、表現力、行動力、その他、様々な能力や態度とともに自己肯定感、思いやりの心などを育み、全体を人間力(「自助の力」と「共助の力」)として育んでいきます。

そして、地域社会とふれあうことで「市民」としての意識を育んでいきます。

■「ボランティア体験学習」・「ボランティア活動」は、『人間力』を育む最も有効な「体験」の1つです。

### ◆「ボランティア体験学習」

学校教育及び社会教育の場で行われる教育活動で、児童・生徒が地域の人たちなどを交えたりして様々なボランティア体験活動に取り組み、ボランティア活動やその意義、社会(地域)等について学び、人間力を育むことができるものです。

当センターでは、この教育活動が必要であると考えています。

(「総合的な学習の時間」における地域課題解決学習、サービスラーニングとして増えてきています。)



### ◆「ボランティア活動」

学校教育(学校管理下)及び社会教育活動でもなく、地域や社会で共通の問題で困っている人、困っていることを解決したいと思った人たちが、対価を得ることを目的とせず自分から進んでその問題の解決のために活動するものです。

・ふれあいボランティアパスポートは、ボランティア体験学習・ボランティア活動の“きっかけ”と“継続”に有効なツールです。

・最終的には子どもの『人間力』を育むことを目的としています。地域社会での多様な人との出会いによるキャリア教育、そして市民を育てる市民教育としても有効なツールです。

ふれあいボランティアパスポート事業は、子どもたちの人間力を育むための当センターと参加校・参加団体等との協働事業として、以下のことをご理解いただきまして、ご参加をお願いいたします。

さわやか青少年センターは、小・中・高等学校、青少年健全育成団体等に、「ふれあいボランティアパスポート」(以下FVPという。)を**無償提供**します。

**FVP 送料及び感想欄送料は参加校・参加団体等にご負担いただきます。**

## 2. FVPの特徴

FVPIは、活動記録欄にその日行ったボランティア体験学習やボランティア活動の内容や感想を10回記録することができるパスポートサイズで三つ折りの記録帳です。

### ◎児童、生徒の活動に賛同して、支援企業、団体、個人等から当センターがいただいた寄附金の一部(一定額を)社会貢献団体に寄付します。

- ◆活動終了後、6つの社会貢献活動団体(A～F)の中から児童・生徒自身が応援したい1団体を選んで○を付けるか、参加している児童・生徒全員で(G)を選んで応援したい団体(A～F以外の団体)1つを決めてもらいます。
- ◆【ボランティアを終えて(感想欄)】を書いて、裏面の寄付先(A～G)に○をつけて切り取り、当センターに送ってもらうと、各団体に寄付(団体活動支援金)が送られます。

児童、生徒は寄付という言葉を通じて「寄付文化」について学び、更に広い世界の社会貢献活動を学びます。

※A～Fの社会貢献団体は、広く社会で活動し、実績のある団体です。

総合的な学習の時間の「国際理解」・「環境」・「福祉」に対応させて2団体ずつ選んでいます。

Gは、学校や団体の参加児童・生徒全員の総意として、A～F以外の社会貢献団体を指定することができます。(6つの社会貢献活動団体のホームページを当センターのホームページに紹介しています。各団体のホームページとリンクしていますので児童・生徒にご紹介下さい。ITルールの活用にもなります。)

### 社会貢献団体 (寄付先の団体)

A 認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会 <http://www.jcv-jp.org/>

B 認定NPO法人JHP・学校をつくる会 <http://www.jhp.or.jp/>

C 認定NPO法人富士山クラブ <http://www.fujisan.or.jp/>

D 公益財団法人日本野鳥の会 <http://www.wbsj.org/>

E 認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク <http://www.nanbyonet.or.jp/>

F 公益財団法人日本盲導犬協会 <http://www.moudouken.net/index.php>

※G 指定支援団体(その他の団体)

※当センターホームページのトップページ左側のFVPをクリックすると、FVPのページに入ることができます。そこに各団体のリンクがありますので、児童・生徒に各団体のホームページに直接アクセスしてもらい、それぞれの団体の活動を詳しく知ってもらうことで、更に積極的にボランティア体験学習・ボランティア活動の動機付けにつながるなど、ご活用下さい。

## 3. 創意工夫でボランティア体験学習を活発に、そして自主的なボランティア活動へ

—まずは、身近にできる活動から。そして地域の活動へ、更に広い社会、世界へ—

■FVPIは、児童、生徒の“良い行い”をふれあいボランティアパスポートというツールを使って、ボランティア活動のできる児童、生徒に育ってもらうための橋渡しのツールでもあります。

小学校の低学年には、まず身近な他者(家族や友人など)が困っていること、身近な環境(自宅や近所、学校の中など)の困っていることに気づいて、できることに取り組むように声をかけていただきたいと思います。

FVPIは、参加校の皆様の創意工夫によって、より効果を発揮します。総合的な学習の時間、学級会活動、児童会・生徒会活動、特別活動、部活動など、学級・学年・全校での教育活動の中でボランティア週間・ボランティア月間を定期的に設ける、活動に教師も参加する、記録を確認してほめる、全校で紹介する、表彰する、などして、身近にできるボランティア体験学習に継続的に取り組むように創意工夫することで、児童や生徒は積極的に活動に参加するようになり、放課後や週末、長期休暇中などの自主的な地域のボランティア活動にまで、ボランティアの輪が広がっていきます！

**4. FVPの流れ** (流れ図も併せてご確認ください。※**フレンズ**については、流れ図で説明しています。)  
**フレンズ**は、当センターのFVPを使用しないしくみで、流れは同じです。

### 1) FVPの申込み・送付。

- ①4月から翌年1月末までいつでも申込みできます。電話・FAX・E-mail できます。(下記)
- ②連絡後、当センターより、FVPを送付します。(送料は着払い、もしくは切手か銀行振込で返納)

### 2) FVPの児童・生徒への配布。

- ①児童・生徒、先生もお持ちください。保護者にも渡して一緒に活動していただくと効果的だと思います。

### 3) ボランティア体験学習・ボランティア活動(以下ボランティア体験学習・活動という)に取り組む。

- ①児童・生徒がボランティア体験学習・ボランティア活動したら、その内容をFVPに記録します。すでに他団体の活動に参加していたら、その取り組みもFVPにお書き下さい。新規の活動である必要はありません。



- ②10回記録できますが活動記録欄(10回分)を全部埋める必要はありません。  
1回だけでも構いません。

- ③参加時期に係わらず、当年度4月以降の活動であれば遡って活動の記録を書いて構いません。  
振り返りのための記録です。

- ④活動記録の「ひとこと欄」のところに、シールを貼ったり、スタンプを押したり、コメントするなどの工夫で、  
楽しく活動できます。

### 4) FVPの終了 (**1月末日までに終了してください。**)

1月末よりこの日より以前であればいつでも結構です。

※1月末日は、FVPの終了日です。

学校のボランティア体験学習・活動は引き続き取り組んでいただいて構いません。

- ①実施期間終了後

【ボランティアを終えて(感想欄)】(切り取り)に自分がどう成長したかを書かせてください。

- ②活動支援団体のうち、応援したい団体A~Gを1つ選んで○で囲みます。
- ③Gの指定支援団体を選ぶ場合は、団体名・連絡先等をご連絡ください。Gを学校として選ぶ場合、各児童・生徒がA~Fの団体に○をつけても、Gの団体に寄付をすることになります。

### 5) **【ボランティアを終えて(感想欄)】(切り取り)のみを回収。**

- ①**【ボランティアを終えて(感想欄)】(切り取り)のみを回収**してください。
- ②活動記録欄は、児童・生徒の振り返りに有効です。必ず児童・生徒に返してください。

## 6)【ボランティアを終えて】の返送 **〔2月15日(必着)〕**で当センターにお送り下さい。

①A【ボランティアを終えて(感想欄)】(児童・生徒から集める)

B「FVP回収票」(FVP発送時に同封。感想欄裏面の寄付先を集計して記入する)

このAB2つを、さわやか青少年センターに送ってください。

尚、【ボランティアを終えて(感想欄)】はお返ししません。

※②児童・生徒のFVPの感想欄やふれあいボランティア活動感想文募集他、FVP事業において児童、生徒、先生、団体、一般の方等から寄せられたもの(写真や内容等)については、ふれあいボランティア活動普及のために、使わせていただくこと(ホームページ、その他での紹介、ふれあいボランティア活動普及のための研究に使用することなど)があります。

その際は、学校名・個人名、場所等は特定できないようにいたしますので、あらかじめご了承ください。

## 7)活動支援団体の集計、団体活動支援金の助成

①当センターで【ボランティアを終えて:感想欄】を活動支援団体ごとに分けて、全体数から各団体の割合を出します。

②集計の割合をもとに、活動支援金を各団体(前記)に助成します。

③活動支援金の金額は各年度によって変わります。

## 8)結果報告

①最終集計・助成の結果は、各学校、団体に**年度末までに文書でご報告**します。

## 9)お願い

①児童・生徒の活動を積極的に認めてほめてください。

確認欄・ひとこと欄は、ほめて(励まして)いただくための欄です。子どもたちは、先生や保護者などに認めてもらうことが活動の原動力になります。

ホームルーム、学級会活動、生徒会活動や、学校行事、総合的な学習の時間などさまざまな場面で励ましたり、ほめたりしてたくさんの声かけをして子どもたちの活動を認めてあげてください。

②FVPの取り組みルールは、児童・生徒が楽しく取り組めるように、自由にお決め下さい。

③保護者にもボランティア体験学習・活動にご参加を呼びかけてください。

FVPをご提供いたします。保護者の方が参加する場合、子どもと保護者で1冊を共有しても、それぞれ1冊ずつFVPを使用しても、どちらでもかまいません。

**ふれあいボランティア活動の輪を広げてください！  
FVPを他の学校や団体等に、是非、ご紹介ください。**

### 【申込み・問い合わせ先】

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-24-17 丸華ビル5階

認定NPO法人さわやか青少年センター事業所

ふれあいボランティアパスポート事業 担当：有馬

TEL：03-6279-9236 / FAX：03-6279-9256

URL：http://www.ssc-npo.or.jp / E-mail：info@ssc-po.or.jp